



図-1.1.1 調査位置図 S=1:1,000

ボーリング柱状図

調査名 金沢大学宝町団地地盤調査 (その1)

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 1		調査位置	石川県金沢市宝町1-1 (金沢大学宝町団地構内)			北緯	36° 33' 12.0"								
発注機関	金沢大学 施設部 建築課			調査期間	平成 16年 3月 26日 ~ 16年 3月 27日			東経	136° 41' .0"							
調査業者名	川崎地質株式会社 電話 (03-5445-2082)		主任技師	油野 英俊		現場代理人	鈴木 俊生		コ鑑定者	鈴木 俊生		ボーリング責任者	梅田 謙司			
孔口標高	58.715m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南		地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°		使用機種	YBM-05DA-2		ハンマー落下用具	コーンプーリ	
総掘進長	15.43m	度			向			エンジン	ヤンマーNFAD8		ポンプ	GP-5				

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験	掘進月日		
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値							
58.32	0.40	0.40	盛土・礫混り砂	褐				礫径はφ2~6mm程度。砂の粒径は、細砂~中砂を主体とする。	1.15	3	5	5	13/30	13					
57.12	1.20	1.60							1.45	19	18	13/4	50/24						63
			砂礫	褐				礫径はφ2~50mm程度。草根が少量混入。	2.15	21	29	9	50/19	79					
									2.39	15	17	18/6	50/26						58
									3.15	15	35		50/20						75
									3.34	15	35		50/20						75
52.62	4.50	6.10	固結シルト	褐~暗灰				礫径はφ2~70mm程度。マトリックスは、シルト混じり砂。礫はハンマーで割れる程度。	4.15	3	4	12	19/30	19					
									6.15	39	11	2	50/12						125
			砂	褐				GL.-6.1~7.8mは、褐色で含水量は少位。 7.8~9.7mは暗灰色になり、細砂が混じる。含水量は少位。	7.15	14	24	12/3	50/23	65					
									7.27	14	22	14/3	50/23						65
49.02	3.60	9.70							9.15	14	22	14/3	50/23						65
									9.38	3	2	4	9/30						9
47.32	1.70	11.40	粘性土	暗赤褐				砂は粗砂が主体であり、φ2~3mmの小礫が混じる。含水量は中位。	10.15	2	4	5	11/30	11					
									10.45	8	12	14	34/30						34
46.82	0.50	11.90	固結シルト	暗灰				比較的不均一な粘性土である。 GL.-11.9~14.0mまで均一な固結シルトである。含水量は少位。 GL.-14.0~15.43mでは細砂が少量混じる。	11.15	11	15	23	49/30	49					
									12.15	12	19	19/8	50/28						54
									12.45	10	15	25	50/28						54
									13.15	10	15	25	50/28						54
43.29	3.53	15.43							14.43	10	15	25	50/28	54					

ボーリング柱状図

調査名 金沢大学宝町団地地盤調査(その1)

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 2		調査位置	石川県金沢市宝町1-1(金沢大学宝町団地構内)			北緯	36° 33' 12.0"								
発注機関	金沢大学 施設部 建築課			調査期間	平成 16年 3月 26日 ~ 16年 3月 27日			東経	136° 41' .0"							
調査業者名	川崎地質株式会社 電話(03-5445-2082)		主任技師	油野 英俊		現場代理人	鈴木 俊生		コア鑑定者	鈴木 俊生						
ボーリング責任者	西 秀樹															
孔口標高	58.888m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南		地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°		使用機種	YBM-05		ハンマー落下用具	コーンブーリ	
総掘進長	15.45m	度	0°		向			エンジン	ヤンマーNFAD8		ポンプ	GP-5				

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験	原位置試験	試験名および結果	試料採取	採取方法	室内試験	掘進月日
58.44	0.45	0.45		盛土	灰			上部より、コンクリート0.20m、碎石0.25mである。							
57.04	1.40	1.85		盛土・シルト質粘土	明黄灰			上部には旧表土が混じる。かなり密に締まっている。均一であり、含水量が少位。							
				砂礫	褐			締まりは、中位である。マトリックスはシルト混じり砂である。礫はφ5~30mmの珪円礫である。							
53.74	3.30	5.15		砂質シルト	浅黄			φ5mm程度の珪円礫を含む。凝灰質のシルトが主体である。含水は多位。							
53.29	0.45	5.60		砂礫	褐			マトリックスはシルト混じり砂である。礫径はφ5~30mm程度の珪円礫。締まりは中位であり、含水は少位。							
52.04	1.25	6.85		固結シルト	褐			均一なシルトで良く締まっている。含水は少ない。上部に砂が混じる。							
50.19	1.85	8.70		砂	褐			細砂~中砂が主体である。含水は中位~多位で、緩い。							
47.49	2.70	11.40		粘性土	赤褐			含水が少位で、良く締まっている。							
46.99	0.50	11.90		固結シルト	暗灰			含水が少位で、良く締まっている。							
45.14	1.85	13.75		砂	褐~暗赤褐			GL.-14.0mまで褐色を呈する。中砂~粗砂が主体である。							
43.44	1.70	15.45		砂	暗赤褐			GL.-15.45mまで暗赤褐色を呈する。シルトが混じり、含水は少位。							